

◎後期

学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
<p>2章 数列</p> <p>1節 数列</p> <p>1 数列</p> <p>2 等差数列</p> <p>3 等差数列の和</p> <p>4 等比数列</p> <p>5 等比数列の和</p> <p>6 和の記号Σ</p> <p>7 いろいろな数列</p> <p>2節 漸化式と数学的帰納法</p> <p>1 漸化式</p> <p>2 数学的帰納法</p>	<p>10</p> <p>11</p> <p>12</p> <p>1</p> <p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・等差数列, 等比数列など, 簡単な数列について, 一般項や第n項までの和を求めることができるようにする。 ・数列 $\{a_n\}$ についてnと a_nの対応関係に着目し, 数列の一般項の意味を理解する。 ・等差数列と等比数列を理解し, それらの一般項を求めさらに第n項までの和を計算できるようにし, 数列を身近な問題の解決に活用できるようにする。 ・記号Σの意味を理解し, それを用いることができるようにする。 ・数列の一般項は, その数列の各項の階差に着目すれば求められる場合があることを理解する。 ・隣接する二項の関係に着目して, 数列を一次の漸化式で表現できるようにする。 ・漸化式の意味を理解し, 一般項を導くことを考える。 ・数学的帰納法の意味とその扱い方を理解する。 	<p>商業科目「計算事務」の複利計算等との関連が深い。</p>	<p>課題テスト</p> <p>定期考査③</p> <p>定期考査④</p> <p>定期考査⑤</p>
<p>【課題・提出物等】 課題プリントの提出 等</p>				
<p>【後期の評価方法】 定期考査・課題テスト・小テスト等の成績, 課題プリントなどの提出物の内容, 授業中の活動を総合的に判断し評価する。</p>				
<p>【年間の学習状況の評価方法】 下記の(2)に示した4つの観点から評価した前期の成績, 後期の成績を総合し, 年間の学習成績とする。</p>				

(2) 評価の観点及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関心をもっているか。 ・意欲的に課題に取り組んでいるか。 ・数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを身近な事象の考察に活用しようとする態度を持っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動 ・課題プリント ・小テスト ・定期考査 等
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を見いだそうとしているか。 ・見いだした数学的な見方や考え方をもとに事象をとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えているか。 	
資料活用の技能・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に考察して計算方法やグラフや図を表現し処理できているか。 ・事象を表現し処理する方法や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できているか。 	
知識・理解	各分野における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけているか。	

(3) 担当者からのメッセージ

・受身の授業ではなく、積極的に考え、広い視野で数学を見て、わかったつもりにならないように。
 ・特に、この分野は他教科とのつながりが多いので身の回りの現象と合わせて考えていきましょう。
 ・2年から学ぶ数学Bは、高校数学に慣れてきたとはいえ、これまで以上に、家庭学習をすることが大切となります。継続して日々学習することを怠らないでください。自分の進路実現のため、皆さんの努力に期待します。

(4) 授業を受けるに当たって守ってほしい事項

○「自分から」動きましょう。

授業中の解説をそのままノートに写すだけでは、ただ「作業」をしているだけです。なぜそうなるのか、結果に至る過程はどうなっているのか、自分の頭で考え、自分の言葉で書かなければ、絶対に力つきません。

○自分の考えを大切にしましょう。

解答は一つですが、「解答の方法」は必ずしも一つではありません。常に「自分はこう解いたのだが、どうなのだろう」という考えを持つことが大切です。

○予習をしましょう。

何も準備せずに授業に臨む場合と、あらかじめ次の授業で学習予定の内容に目を通し、どのように展開されるのか見通しを付けて授業に臨む場合とでは、理解度が格段に違ってきます。

○必ず毎日の復習をしましょう。

復習をすることで、内容についてより深く理解でき、定着しやすくなるとともに、自分が理解できなかった点を発見し、克服する機会を得ることができます。後でまとめて復習しようとしても、忘れてしまい、それまでに学習した内容を最初からもう一度やり直さなければならなくなる場合がほとんどです。少しずつでも毎日復習することが、力をつける第一歩です。

○誤りは消さずに、ノートに残しておきましょう。

自分がどこで間違えたのか、何が原因で間違えたのか、見て分かるようにしておきましょう。誤答を消して模範解答だけを書いてしまっているのは、弱点を克服することが難しくなります。失敗と向き合うことで、より成長できるのです。